

中村忠教授退職記念号発刊に寄せて

高崎経済大学副学長 石川 弘 道

中村忠先生は、専修大学法学部を卒業された後、明治大学大学院法学研究科の修士課程、博士課程を修了され、昭和55年4月に高崎経済大学経済学部にて専任講師として採用され、平成21年3月をもちまして経済学部を定年でご退職されることとなりました。在職年数は29年という長きに亘り、研究と教育の両面において大きな足跡を残されました。また、経営学科長、就職委員長、評議員として大学の発展のために多大なるご尽力とご貢献をなされました。先生、長い間ありがとうございました。

先生は、経済学部では当初「民法」「演習」を、後に Semester 制に伴い「債権法総論」「現代民法総論」「物権法」「基礎演習」「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」を、大学院経済・経営研究科の前期課程では「民法研究」「民法研究演習Ⅰ」「民法研究演習Ⅱ」を、後期課程では「民法特論」を担当されました。学会活動では、私法学会、法社会学会、農業法学会、東日本入会林野研究会に所属し、精力的かつ着実な研究活動を継続されてきました。その成果は『新版・民法総則』、『債権総論・各論』をはじめとする著書や数多くの論文に纏め上げられています。また、入会関連の各種委員や市町村職員研修の講師など数々の社会貢献・地域貢献もなされてきました。

研究領域が異なるため、先生のご専門・研究テーマについて詳しく述べることはできませんが、林野の入会に関する研究と地域における実践的相談・指導であると認識しておりますし、研究者の少ない領域であり、先生に対する期待が大きいともうかがっております。ますますのご活躍と更なる成果が期待されます。

同じ埼玉県在住ということで、大学からの帰路、先生のお車に同乗させていただく機会があります。車中では、先生の少年時代の苦労話、ご母堂様に対する思い、さらにはご自身が理想とする大学を創設したいという壮大な夢など、少年の心を持ち続ける夢多き人柄に接することができました。

退職後も、特任教授として経済学部の学生指導・教育にご尽力いただくことになっております。ご健康に十分留意され、ますますご活躍されますよう心からお祈り申し上げます。

最後に、退職も卒業のひとつであり、わがゼミの卒業生と同じく、お名前の「なかむらただし」を織り込んで、一首お贈りいたします。

仲間らと
村の資源を
高めんと
談笑まじえ
指導「入会」